MOVEは、行動する、感動させるといった意味を含みます。
会員をはじめ、産業界、地域のために全力で行動します。

川口商工会議所会報「むうぶ」

2019 健康経営優良法人 Health and productivity
川口商工会議所は「健康経営優良法人2019」に認定されています。

MOVE 9

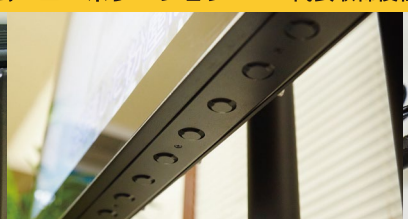
2019
September
Vol.550

The Kawaguchi Chamber of Commerce & Industry

できることをもっと、知って欲しい。

《特集》ようこそ! ものづくりの世界へ!
川口オープンファクトリー2019開催

◎今月の表紙 / 株式会社エム・コーポレーション　代表取締役社長 梅津 睦秀（むつひで）さん



今月の表紙
株式会社エム・コーポレーション
代表取締役社長 梅津 睦秀（むつひで）さん

これだけICT化、IoT化が叫ばれる昨今にあって、
今なおコンピューターを設置していない産業の現場がある。
と聞いても、一般的には、さほど大きな関心事には
ならないのかもしれない。というのも、それが、
その産業の担い手たちの意志ある選択であるのならば、
取り立てて問題視する必要など、ないと思われているからだ。
しかし、他方で、**設置したくても設置“できない”**
現場というのも、たしかに存在するのである。
その理由は、多くの場合、**水や油、粉塵**（ふんじん）などの、
精密機械が不具合を起こす
使用環境に起因する。
「このご時世に、そんな原始的な理由で」と
意外に思われる方もいるだろうが、
コンピューターを設置できなければ、ICT化やIoT化は
進めたくても進められない。情報通信業界では、
こうした現場は、“塩漬け”の市場と化していた。

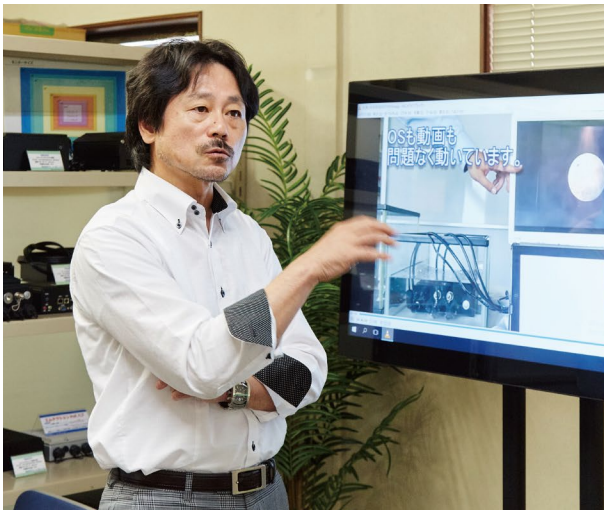
塩漬けの市場……

言い換えれば、発展性が乏しいと見なされていたこの市場に新風を吹き込んだのは、従業員数わずか5名の小さなIT企業であった。
株式会社エム・コーポレーション。
同社の手がける**防塵・防水機能を備えた**
PC、モニター、タッチパネルPCなどの
『エムテクション』シリーズが、今、IoT化を渇望していた多くの現場に一筋の光を差し込んでいる。

「防塵・防水を謳うコンピューターは、以前からあったんです。
が、それらは、大概どこかにスリットのような空気口が設けられていた。
つまりは、360°完璧といえる防塵・防水ではなかったんですね」と
話すのは、代表の梅津睦秀さん。
いわく、こうした既存の防塵・防水コンピューターは、
結局のところ、何かしらのカバーで保護する必要があった。
よって、費用はかかるし、保守も大変。
「だから、我々は、“完全密閉型”をキーワードに、
どんな環境でもそのまま使える
タッチパネルPCの開発に着手したんです。
意外なことに、そんなコンピューター、
今までありそうで、なかったものですから」

企業DATA
本社 ：埼玉県川口市飯原町3-4
TEL:048-241-0285
http://www.emu-corp.com

平成30年度
ブランド認定製品
ビジネスを広げるいいもの
機械装置・付帯部品

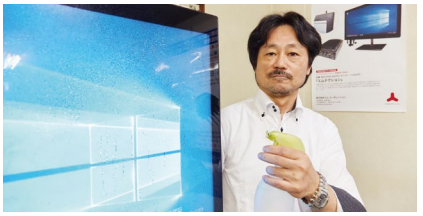


「ある」ことが当たり前な世界に生きていると、
「ない」ことが当たり前の世界のことに意識が及び難くなる。
エム・コーポレーションが目を付けたのは、まさしく、
そんな境目であったといえるのかもしれない。
大手がひしめくIT市場で、これまでにない市場を創る。
自分たちだけの市場を創る。しかも、それは、
自社の利益のためだけではない。潜在的だが、
たしかにそこにある求めに応じる営みであったのだ。

「『エムテクション』があることによって、
これまでできなかったことができるようになる。
すると作業効率が上がる。生産性も上がる。
そうしてお客さまの収益につながる仕組みを創っていくことが、
我々IT企業の役割だと思っています」

エム・コーポレーションは今後も
「困難な場所をIT化する技術集団」で
あらんとす。

昨年度、川口i-monoブランドにも認定された『エムテクション』シリーズのモニター。なんと、水没しても壊れないそうで、「お客さまの要望に応じて、1台からでもカスタマイズ可能です」とのこと



PCとモニターが一体となった『エムテクション』シリーズのタッチパネルPC。こちらも強靭なボディを誇る一方、軍手やゴム手袋を装着した状態でも操作が可能な繊細さも併せ持っている

ようこそ！ものづくりの世界へ！

川口オープンファクトリー2019開催

川口市は、鋳物・機械・部品・金属・精密加工等様々な産業が集積する「ものづくり都市」です。

明治以降、鋳物工業が発展し、機械工業や木型工業など、機械金属分野に関連する多数の工場の集積も進みました。現在も製造業者数は埼玉県内で第1位です。ものづくり都市として全国的に知られている東京都大田区や墨田区と同等の、多くの製造事業所が集積しています（表1）。

本市を支えてきた伝統的な産業は、力強く地域に根付いています。そして、メディア関連など幅広い産業も加わり、躍進する"新産業文化都市"として、現在に至っています。

経済成長とともに第三次産業の比率が高まり、第一、二次産業は、国内外の競争激化や担い手不足などといった原因から減少している状況です（表2）。しかしながら、優れた製品や高度な技術を誇る魅力的な企業が、市内にはたくさんあります。

「川口オープンファクトリー」事業は、歴史と伝統を持つ工場などの生産現場を公開し、来場の皆さんに現場を知ってもらい、ものづくりの楽しさや、現場の人々の思いを理解してもらうために平成28年度から実施しています。あわせて、受入企業にとっても地域への発信や社員教育などのメリットが見込まれます。

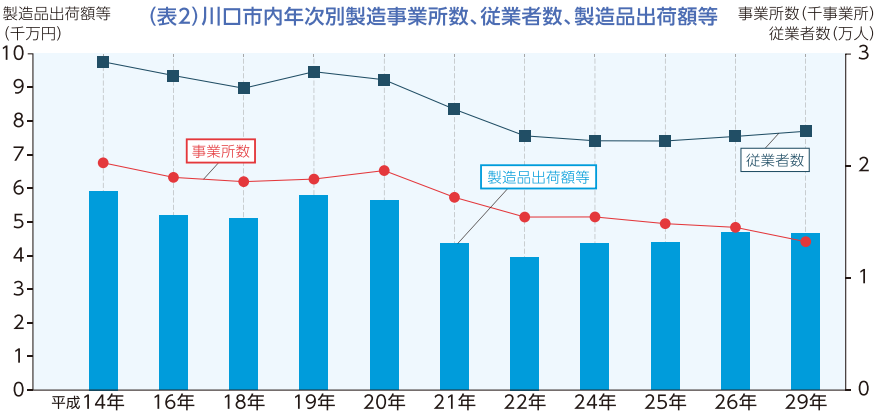
川口に技術力の高いものづくり企業が集積し、イベントや買物、人とのふれあいが楽しめる街であることを理解してもらうことで、川口の街と企業にますます愛着を持ち、地域のブランド力が高まることを目指しています。

（表1）ものづくり中小企業都市比較表

	川口市		大田区		墨田区	
	事業所数	構成比	事業所数	構成比	事業所数	構成比
全産業	22,397	—	31,432	—	16,884	—
製造業	4,167	18.61%	4,699	14.95%	3,466	20.53%

（平成26年経済センサス）

（表2）川口市内年次別製造事業所数、従業者数、製造品出荷額等



出典：川口市工業統計調査（従業員数4人以上の事業所を対象とした年のみ記載）

前回企業アンケートから（一部抜粋）

- 来場者の中に企業と企業をつなぐコンサルタント業の方がいて、逆にいろいろな話を聞くことができ勉強になりました。また、弊社の技術についても興味を持っていただき、とてもいい機会になりました。
- 社員教育にもっとも効果があったと感じております。来場者の方に「すごい」などと褒められることで、自分たちの技術に自信を持つことができ、今後もっと外部に会社を発信していく力になるように思いました。
- 参加していただいた方から、「川口にこのような会社があるとは知らなかった。勉強になりました」との言葉をもらい、自社のPRにつながったと実感できました。

受入企業になることで生まれるメリット

工場などのものづくり現場を来場者に公開し、職人や従業員との交流を通じてものづくりの楽しさを肌で感じてもらうことで、企業のPRのほか、以下のような効果が期待できます。

○住工共生

一般市民の工場に対する理解を促進し、良好な操業環境の維持や企業イメージの向上などが期待できる。

○社員教育

来場者に対し社員がわかりやすく自社の説明を行うことで、社員自身の会社理解を深める教育効果が期待できる。また、受入にあたり社内清掃することが日常的な整理整頓へつながるきっかけとなる。

○新たな担い手づくり

高く評価されている製品を知ることで、学生・若者に関心を持たせ、「ものづくり職人のカッコよさ」を見せ、職人に対する憧れを養う。

川口オープンファクトリー2019開催

11月8日(金)・9日(土)の2日間

9:00～17:00 ※受入日時はそれぞれのファクトリーごとに異なります。

【会場】川口市内の中小企業工場　【受入対象】市内外の一般の方
【参加費】原則無料（製作・体験できる企画は製作費がかかる場合があります）

以下の3つの企画で来場者を受け入れます。

事前予約オープン　23社

受入日時・人数が決められている工場で、事前予約をすることにより見学ができます。

フリーオープン　4社

受入日時のみ決められている工場です。受入日時の範囲で、予約なしに見学が可能です。

ぐるっとモノWaZa　7社

複数の工場をバスで巡りながら見学するツアーです。各工場の役割を理解しながら、材料から製品ができる過程を見学し、お土産品を作ります。バスツアーを通して、材料から製品ができるまでの工程を見学します!

東川口駅
ものづくりの
世界へダイブ!

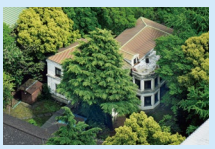
日　時:11/8(金)　9:30～17:00(予定)
参加費:3,000円※バス、昼食、傷害保険、材料費等を含みます。
定　員:20名
申　込:ハガキまたはホームページからお申込みください。応募多数の場合は抽選となります。

山伸マテリアル㈱
切断加工にビックリ!工場内は圧巻の「ステンレスのデパート」

フジテック㈱
金属のR曲げ加工のエキスパート!日本一の技術をその目に!

㈱栗原精機
熟練の職人技術と最新の科学技術との超融合!真摯にみつめるミクロの世界

㈱大泉工場
「地球を笑顔で満たす」企業で、笑顔になれるランチタイム



㈱かねよし
イノベーションが止まらない!正確無比・唯一無二のレーザー加工!

㈱新光ステンレス研磨
ステンレスの表情が変わる!研磨の魅力を堪能!

㈱マエダ
オールマイティでオンリーワン！ ココで生まれた製品が街のあちこちで生きている

川口駅
おかえりなさい

各社の技術を結集したおみやげ制作
思い出にお持ち帰りいただけます!!

お問合わせ・申込　川口商工会議所地域振興課　TEL.048-228-2220　ホームページ

企業潜入ルポ
会員さん こんにちWA!

お客様目線で地域密着 高齢者に優しいお店

有限会社オオミヤ薬局

店長 鶴岡 朋之 氏
(代表取締役 鶴岡 和佳子氏)

企|業|D|A|T|A

川口市元郷 3-10-12
TEL：048-222-4900
営業時間：8：30 ～ 18：30
定休日：日・祝祭日

同社は昭和28年に朋之氏の祖父が創業しました。屋号の「オオミヤ（近江屋）」はご先祖が近江の出身であったため付けたそうです。創業当初は日用雑貨を取り扱っていましたが、2代目になってから薬の販売を開始し、現在の業態となりました。主なお客様は近隣に住んでいる65歳以上の方で、90％以上が常連のお客様です。腰、ひざに優しい、つまずきにくく歩きやすいシューズなど、顧客にあったラインナップを心掛けています。「モノが溢れている時代なので、自分に合ったものを探すのは大変です。よりお客様の生活環境に合った商品をご案内できるように心掛けています」と話します。

さらに、店舗づくりも工夫しています。高齢の方が買い物しやすいようにと、シルバーカーを独自に改良した買い物専用カートを用意し、シルバーカーが通れるよう通路幅を広くしました。また、お客様同士の交流の場、憩いの場として、店内にコミュニティスペースを設置しました。「外出の意欲や機会がなくなると、足腰が弱ったり、認知症になってしまう恐れがあります。買い物が外出のきっかけになればと、気軽に集まれる居場所を作りました」。薬や健康の相談に応じるなど、お客様と店舗との情報交換の場となっていて、とても好評です。

今年6月、新たな取り組みとして、『介護おむつの正しい使い方』実演会を開催しました。「多くの水分を含む介護おむつの処理で、自治体が苦慮しているという記事を新聞で知り、販売する立場の者として何か力になれないかと考えました。高齢化が進み需要がますます増えていくと、ゴミの問題は深刻です。要介護者の家族や介護従事者を対象に、おむつの正しい選び方や使い方をメーカーの担当者から説明・実演してもらいました。介護おむつは昼用、夜用や、吸収量、サイズ等で細かく分類され、400種類もあるといわれています。用途に合ったおむつを、正しく使用することでごみの削減につなることが期待されます。国の政策としても在宅介護が進めてられていて、住み慣れたところで介護を受けていくことが理想です。私たちの活動を広めることで、介護のマイナスイメージや負担感を少しでも軽減していきたいです」と話す朋之氏。今後も年に数回開催していきたいそうです。

「地域に対して私達のお店が貢献できることはないかと常に考えています。取り組みの一つとしてお客様（特に独居の高齢者）宅へ無料で商品配達を行い、そこでお客様と会話する事により社会との接点を作るサービスを提供しています。お客様から『このお店があって良かった』、『楽しい時間が過ごせる』と言ってもらえることが何より嬉しいです。インターネットでの商品の購入が当たり前になっているからこそ、リアル店舗ならではの価値観を追求していきます」。9月に母の和佳子社長から代表を引き継ぐ予定の朋之氏。これからも、地域密着の原点は受け継ぎながら、様々なサービスにチャレンジしていきます。